

2023年度 第3四半期 決算説明資料






2024年2月14日

株式会社三井E&S



※ 主要事業が引き続き堅調に推移しており、更なる積み増しを目指す

2023年度 第3四半期 決算概要

◆ 受注高	2,279 億円	(前年同期比 )
◆ 売上高	2,154 億円	(前年同期比 )
◆ 営業利益	135 億円	(前年同期比 )

2023年度 見通し

◆ 受注高	3,300 億円	(前回発表見通し比 )
◆ 売上高	3,000 億円	(前回発表見通し比 )
◆ 営業利益	170 億円	(前回発表見通し比 )

トピックス

- ◆ 通期業績予想を上方修正
- ◆ 新株予約権の行使完了
- ◆ 船用エンジンの代替燃料対応に向けた設備増強状況

※ 好調な事業環境が持続した事などにより、全ての段階利益が大幅に増加

(単位：億円)

	22年度 3Q	23年度 3Q	増減
受注高	2,140	2,279	+139
売上高	1,732	2,154	+422
営業利益	△25	135	+160
営業利益率	△1.5%	6.3%	-
経常利益	△4	117	+121
経常利益率	△0.3%	5.4%	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	117	+94

<期中平均為替レート>

	22年度 3Q	23年度 3Q
USドル	138.28円	145.94円

2023年度 第3四半期 セグメント別決算概要

※ 東南アジア地域におけるコンテナクレーンの受注が好調に推移

※ 売上高の増加に伴う増益などにより全部門黒字化

(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	22年度 3Q	23年度 3Q	増減	22年度 3Q	23年度 3Q	増減	22年度 3Q	23年度 3Q	増減
成長事業推進	315	372	+57	223	292	+68	18	35	+17
船用推進システム	910	857	△53	701	997	+296	14	50	+36
物流システム	395	587	+193	282	302	+19	△5	10	+15
周辺サービス	405	462	+57	380	526	+145	△2	20	+22
その他	116	1	△115	145	37	△107	△50	19	+70
合計	2,140	2,279	+139	1,732	2,154	+422	△25	135	+160

※ 事業が好調に推移している事を反映し、通期業績予想を上方修正

(単位：億円)

	前回見通し 2023/12/22	今回見通し 2024/2/14	増減
受注高	3,200	3,300	+100
売上高	2,800	3,000	+200
営業利益	120	170	+50
経常利益	90	160	+70
親会社株主に帰属する 当期純利益	80	170	+90
フリーCF (*1)	△430	△430	0
有利子負債	1,680	1,640	△40

(*1) インドネシアの工事に伴う一過性の支出を見込む

※ 前提為替レート US\$ = 140円

※ USドル1円の為替変動が営業利益に与える影響はほぼありません

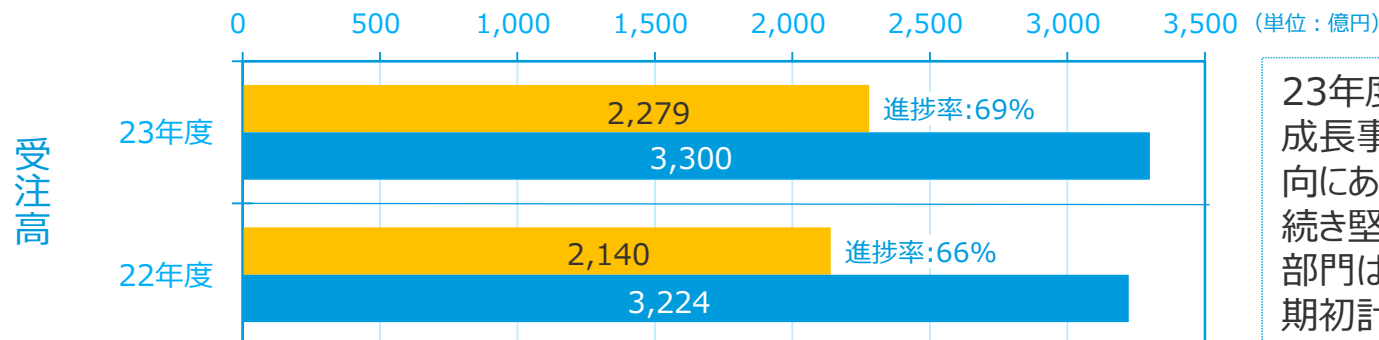
2023年度 セグメント別業績通期見通し

※ 第3四半期累計期間の実績を踏まえ、各部門の通期業績予想を再設定

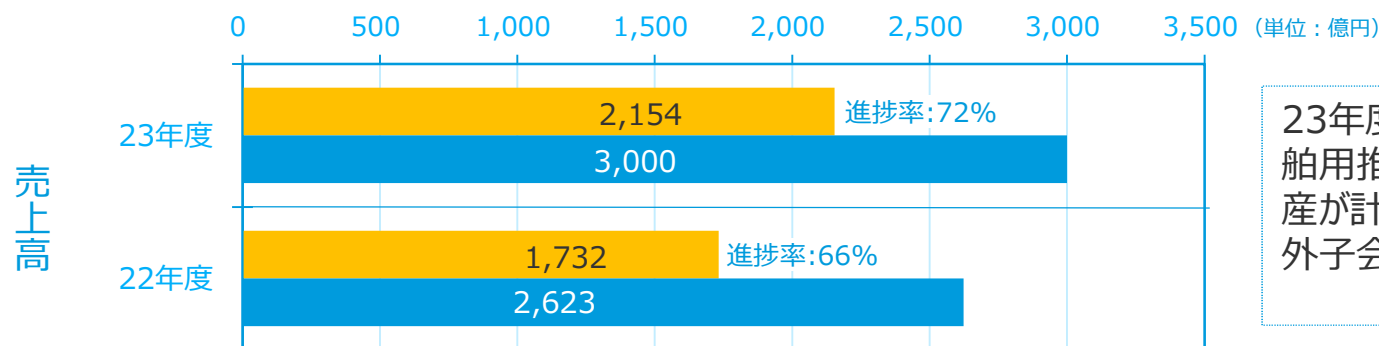
(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	前回見通し 2023/12/22	今回見通し 2024/2/14	増減	前回見通し 2023/12/22	今回見通し 2024/2/14	増減	前回見通し 2023/12/22	今回見通し 2024/2/14	増減
成長事業推進	400	500	+100	300	400	+100	30	40	+10
船用推進システム	1,600	1,600	0	1,300	1,300	0	50	60	+10
物流システム	500	600	+100	500	500	0	20	30	+10
周辺サービス	700	600	△100	600	700	+100	20	20	0
その他	0	0	0	100	100	0	0	20	+20
合計	3,200	3,300	+100	2,800	3,000	+200	120	170	+50

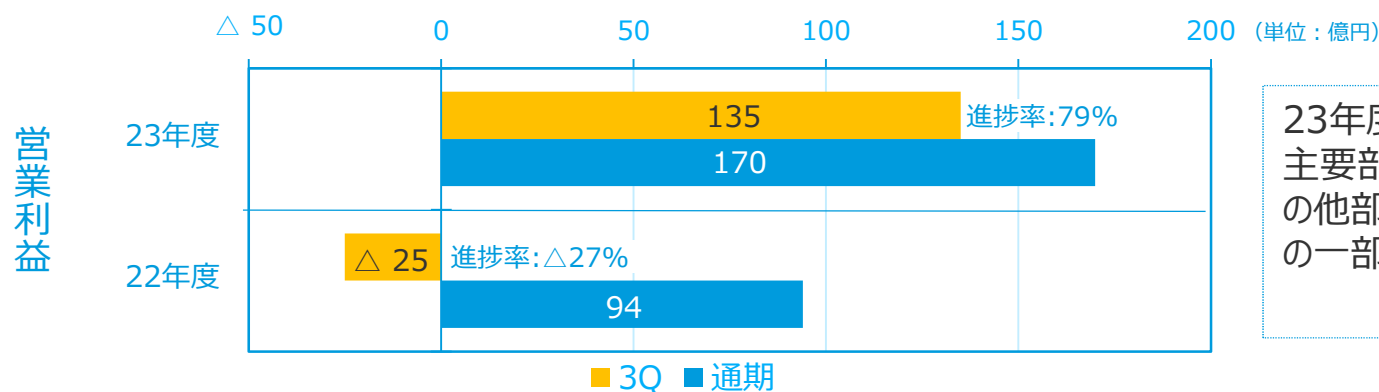
※ 通期業績予想の上方修正後においても、一定の進捗率を維持



23年度 3Q:
成長事業推進部門では脱炭素化案件が増加傾向にあり、物流システム部門における需要は引き続き堅調に推移している。また、船用推進システム部門は第4四半期間での受注を予定しており、期初計画に変更なし。



23年度 3Q:
船用推進システム部門における船用エンジンの生産が計画通りに推移し、周辺サービス部門の国内外子会社が概ね増収となった。

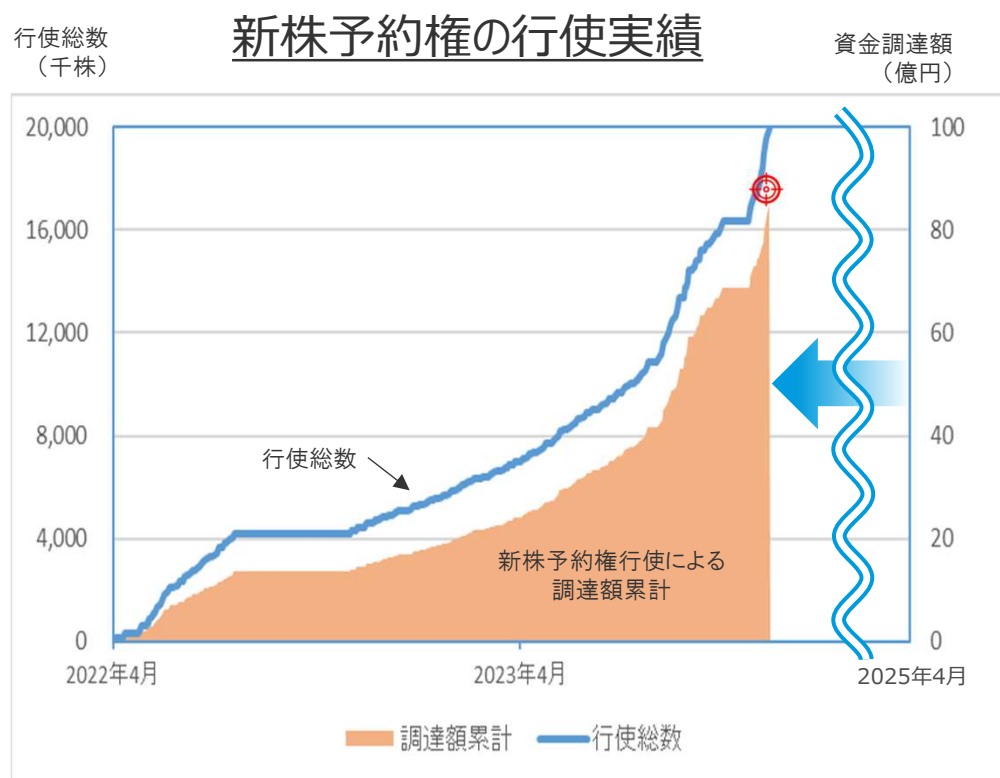


23年度 3Q:
主要部門が増収による増益となった事に加え、その他部門において工事の進捗に伴い損失引当金の一部戻し入れがあり、全部門で増益となった。

新株予約権の行使完了

※ 事業再生計画を22年度中に完遂し、業績も回復基調

※ 株価は上昇基調で順調に推移



	発行	行使完了
	2022年 4月18日	2023年 11月29日
株式数 (千株)	20,000	20,000
行使による調達額 (億円)	81 (予定)	85 (実績)
発行日株価終値 (左) 行使完了日株価終値 (右)	366円	551円

ポイント

- ・ 行使可能期限は2025年4月30日迄だが、大幅に前倒しの2023年11月29日に完了
- ・ 調達額は当初予定した約81億円から約85億円に増加、自己資本も前倒しで増強

◆国際海事機関(IMO)のGHG削減目標

GHG削減目標が前倒しとなり、
早急に代替燃料への切り替えが
必要となる

2050年頃までにGHG排出ゼロ
(2023年7月 MEPC80)



今世紀中早期の排出ゼロ
(2018年4月 MEPC72)

GHG：温室効果ガス

MEPC：海洋環境保護委員会（IMO下の委員会の一つ）

◆GHG規制に対する当社対応方針

将来的なGHG排出ゼロに向けて当社主力製品を二元燃料エンジンへシフト

- ✓ 各種二元燃料エンジンの製造体制を拡大
- ✓ アンモニア焚きエンジンとアンモニア燃料供給装置および水素燃焼技術の開発

◆生産設備の増強状況

- 23年度までに完工済みの設備
 - ・二元燃料エンジン試運転台の増設
 - ・二元燃料エンジン試運転台の大型エンジン対応工事
 - ・水素供給設備新設
- 23年度までに完工予定の設備
 - ・LNG燃料供給設備増設
 - ・アンモニア供給設備新設

市場動向を鑑みながら燃料供給設備を順次拡充



試験運転台に搭載された船用エンジン

※一時的な金融費用の増加があるものの、増収を背景に利益が大きく伸長

(単位：億円)

科目	22年度3Q	23年度3Q	増減	
売上高	1,732	2,154	+422	主に三井E&S DUの新規連結および船用エンジンの生産量増大に伴う増加
売上総利益	185	342	+158	
販売費及び一般管理費	210	208	△3	
営業利益	△25	135	+160	
営業外収益	75	50	△25	主に為替の影響が縮小した事による減少
営業外費用	54	68	+14	主に有利子負債の増加に伴う金融費用の増加
経常利益	△4	117	+121	
特別利益	48	40	△8	
特別損失	14	17	+3	
税金等調整前四半期純利益	29	140	+110	
法人税等合計	8	21	+13	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	△1	2	+3	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	117	+94	

参考) 2023年度 第3四半期 連結貸借対照表の概要

※利益の蓄積に加え、新株予約権の行使完了により、自己資本が増加

(単位：億円)

	22年度	23年度 3Q	増減	
資産合計	4,400	4,670	+271	
(現金及び預金)	458	383	△75	
(受取手形、売掛金及び契約資産)	819	904	+86	
(棚卸資産)	590	751	+161	主に船用エンジンの生産量増大に伴う増加
(有形・無形固定資産)	1,313	1,330	+17	
(投資有価証券)	688	779	+91	
負債合計	3,293	3,289	△4	
(支払手形及び買掛金)	549	664	+114	主に三井E&S DUの新規連結に伴う増加
(契約負債)	253	284	+31	
(受注工事損失引当金)	140	57	△83	
(有利子負債)	1,415	1,669	+254	主にインドネシアの工事に関する資金支出に伴う増加
(その他)	545	215	△330	主にインドネシアの工事の費用精算進捗に伴う未払費用の減少
純資産合計	1,107	1,382	+275	
(自己資本)	1,064	1,338	+274	利益剰余金の蓄積および新株予約権の行使完了による増加
(自己資本比率)	24.2%	28.6%		
運転資本 (*1)	526	646	+120	主に受注高および売上高の拡大による増加
ネットD/Eレシオ	0.9倍	1.0倍		

(*1) 運転資本 = 売上債権 (除く前受金) + 棚卸資産 - 仕入債務

※ 生産設備を増強しながら、計画通り順調に推移

	22年度 3Q累計		23年度 3Q累計 (*1)		23年度 見通し (*1)	
	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)
受注高	123	269	72	199	—	—
売上高	98	204	115	232	—	—
受注残高	46	108	66	149	—	—
生産実績	100	211	115	232	160	325

(*1) 23年度は三井E&S DU社分を含む



MITSUI E&S

Engineering & Services for Evolution & Sustainability

本資料のうち、当社の業績見通し、目標、計画、戦略等には将来に関する記述が含まれております。これらは現時点で把握可能な情報に基づき当社が合理的に判断した見通しであり、既知、未知のリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、将来における当社の実際の業績または展開が大きく異なる可能性がございます。